

令和5年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 秋田県

農業委員会名： 潟上市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和 2 年 7 月 20 日

任期満了年月日 令和 5 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	18	18
認定農業者	—	15
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員			

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	736
農業経営体数	544

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	697
女性	252
40代以下	50

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	196
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	5
農業参入法人	0
集落営農経営	21
特定農業団体	0
集落営農組織	13

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	3,130	210				3,340

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	3,340	ha	2,652	ha	79.4	%
課題	担い手への集積は進んでいるが、作業効率の悪い山間地や小区画地、農地の分散等が農地の確保・有効利用を図るうえでの課題である。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	7	年度	集積率	80.3	%
今年度の新規集積面積	10	ha	農地面積(C)	3,340	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,662	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	79.7	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち黄区分の遊休農地面積	
	11.5 ha	11.5 ha	0 ha
課題	農家の高齢化により、保全管理も難しくなっている。耕作条件が悪い農地は受け手が見付かりにくい、引き続き農地パトロールの強化と適切な管理をするよう指導の強化が必要である。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	11.5	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.3	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0	ha
--------------------------	---	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	3	ha
---------------------------	---	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者	
	1	経営体	1	経営体	1	経営体
	0.4	ha	0.4	ha	0.75	ha
課題	農家の高齢化や後継者不足の状況に対して、新規参入者が少ない。人・農地プランを活用し、法人化の推進や様々な支援も含めて農家の現状を把握し、関係機関と連携して新規参入に向けた推進活動が急務である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
	364.6 ha	448.5 ha	404.4 ha	405.8 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	40.6 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	7 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	18 人
		農地利用最適化推進委員の人数	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3 回
取組時期	取組項目	強化月間の内容
10月	遊休農地活用の調整活動月間	農地パトロールを踏まえ、遊休農地の活用に向けた耕作者の掘り起こしを実施
1月	地域の話し合い活動月間	意向調査結果等を踏まえ、農地の集積・集約化方策の検討や地域農業の将来像について地域ごとの話し合いを実施
2月	戸別相談活動月間	休日に農業委員会相談会の開催や、地域ごとの話し合いを踏まえた利用調整のための戸別訪問を実施

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1回	
開催時期	2月	相談会名	潟上市農業委員会相談会
参加者数	4名	開催場所	潟上市役所もしくは市民センター
相談会の内容	「農業に興味がある」「農業を仕事にしたい」、でもその方法が分からない方を対象に、営農技術・農地の売買や賃借などについてお話を伺い、アドバイスをします。		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)